

自分を大切に・周りの人を大切に ～人権週間～

今年もあとひと月、師走(しわす)に入りました。校庭の木々も落葉し、冬の準備を始めていることが感じられます。朝夕もめっきり冷え込むようになってきて、子ども達からもいよいよ「今日は寒いなあ。」という言葉が聞こえて来る季節となりました。

さて、12月4日から「人権週間」が始まります。これは、国際連合で1948年12月10日の第3回総会において、世界人権宣言が採択されたことに由来します。今年で70周年になります。そこで、今年度の啓発活動重点目標は「みんなで築こう人権の世紀 考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心」となりました。



〔昨年度の人権週間〕

この人権週間にあたって、考えていきたいことが二つあります。1つ目に「自分を大切にすること」です。大切にすることとは、「自分自身をよりよくしていこう。」ということではないかと思います。向上心を持ち自分を少しでもよくしていこうという気持ちが大切だと思います。2つ目に「周囲の人を大切にすること」です。周囲の人とは、家族、親戚、友達、ご近所の人、学校の先生たちなどです。周りの人たちの気持ちを考えて行動したり、周りの人を大切にしたりすることは、なくてはならないことだと思います。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分もさらに生かされていくのではないかと思います。

本校におきましても、人権の大切さを各学年において考えていくことはもちろんのこと、全校的には、12月6日(木)に、手話シンガーソングライターのyokkoさんをお招きし、ふれあいコンサートを行

います。手話と歌、お話をさせていただく予定です。この週間の機会を捉え、私たちが人として温かく生きていくことができる世の中を作っていく役割を担えるよう努めていきたいと思います。

がんばったね、綿向山登山

11月10日(土)に「全校綿向山登山」を行いました。前日から雨が長引き、天候には恵まれませんでした。子ども達は、悪天候をものともせず、急な坂道も前へ前へと歩を進め、全員午前11時過ぎに無事山頂に登り着くことができました。赤・青それぞれの色ごとに全員写真を撮影した後、寒い中おにぎりをいただきました。12時前には、下山し始め、危険な箇所では、上級生が下級生の手を取ってあげたり、温かく見守ってあげたりと世話をしてくれました。このような姿に感動を覚えました。こうした縦のつながりを大事にしながら午後2時20分に全員無事御幸橋に下山することができました。悪天候という不利な条件のもとでも、屈せず頑張る、そのひたむきさを西大路小の子ども達は持っていると感じました次第です。



この全校登山を実施するに当たり、ボランティアの皆様、一緒に登ってくださった多くの地域・保護者の皆様に、ご支援・ご協力を賜りましたことを御礼申し上げます。 <文責：校長 正野新造>